

# 平成29年8月 市長記者会見 配布資料

## 発 表 原 稿

期 日 平成29年8月31日(木)

時 間 午前10時～10時30分

## 発 表 内 容

- 1 平成29年度佐渡市一般会計補正予算（第5号）の概要について  
……<財政課>
- 2 佐渡市民サービスカードの発行について  
……<交通政策課>
- 3 佐渡空港「空の日イベント」の開催と佐渡上空遊覧飛行の実施について  
……<交通政策課>
- 4 慶応大学ラグビー部「朱鷺と暮らす郷」米贈呈式の開催について  
……<農業政策課>
- 5 第2回佐渡民謡の祝祭の開催について  
……<社会教育課>

### 【事前質問】

- ① ワクチン誤接種後、現時点で体調に変化の出た児童はいるか？改めて再発防止の対策と関係職員、担当課等の処分は？
- ② A：「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」について文化庁から正式な課題の提示はあったか？あればその内容。  
B：また7月31日の審議会の会見では7つの構成資産の関連性が分かりにくく何を世界遺産にしたいのか分かりにくいというような指摘があった。しかしこの構成は文化庁の指導に基づいたものではないのか？来年はこの構成を見直すのか？

## 市長記者会見発表内容 要旨 (H29. 8. 31)

### 1 平成29年度佐渡市一般会計補正予算(第5号)の概要について

<概要>

#### (1)補正予算について

- ・佐渡市経済対策事業の経費を計上
- ・7月発生 of 梅雨前線豪雨災害に係る災害復旧経費を計上
- ・史跡佐渡金銀山遺跡ガイダンス施設整備事業の経費を計上
- ・その他の経費については、人事異動等に伴う人件費の補正を計上するほか、6月補正予算編成後の事由による緊急性のある経費について計上

#### (2)予算規模

(単位：千円)

補正前の額	47,799,535
補正額	2,630,342
累計予算額	50,429,877

#### (3)主な財源内訳

(単位：千円)

地方交付税	259,572
国・県支出金	655,436
繰入金	131,349
繰越金	715,341
市債	531,320

#### (4)主な補正項目

(単位：千円)

##### ○佐渡市経済対策事業

補正額：269,951

(事業内容)

- |   |           |
|---|-----------|
| ・プレミアム商品券発行事業【地域振興課】                                      | 167,451千円 |
| 市内消費の喚起による内需拡大と商店街活性化による商業振興を図ることを目的にプレミアム付きの市内共通商品券を発行する |           |
| ・制度融資利子助成事業【地域振興課】  | 80,000千円  |

融資の際、借入必要額に対する利子総額分を助成するとともに、信用保証料の補給を行う

- ・ **クレジット端末導入事業【地域振興課】** 2,450 千円  
地域商店等に対し、クレジット端末機の導入経費を助成する
- ・ **地域の拠点施設等整備支援事業【社会教育課】** 20,050 千円  
避難所に指定された公民館施設の修繕・改修経費を助成する

○ **農林水産施設災害復旧事業【農林水産課】** 補正額：1,027,136

(事業内容)

- ・ **農地単独災害復旧事業** 17,460 千円  
小規模災害復旧事業補助金 75 箇所
- ・ **29 年災農地・農業用施設災害復旧事業** 881,308 千円  
測量設計委託 148 箇所、災害復旧工事 222 箇所
- ・ **29 年災林業施設災害復旧事業** 127,500 千円  
地質調査委託 5 箇所、災害復旧工事 12 箇所
- ・ **漁港施設単独災害復旧事業** 868 千円  
災害復旧工事 2 箇所

○ **小規模補助治山事業【農林水産課】** 補正額：6,000

(事業内容)

- ・ **小規模補助治山事業**  
小規模補助治山工事 5 箇所

○ **土木施設災害復旧事業【建設課】** 補正額：554,700

(事業内容)

- ・ **土木施設単独災害復旧事業** 241,000 千円  
用地測量委託 1 箇所、災害復旧工事 176 箇所
- ・ **29 年災公共土木施設災害復旧事業** 295,000 千円  
災害復旧工事 21 箇所
- ・ **29 年災公共土木施設（都市公園）災害復旧事業** 11,900 千円

測量設計委託 1 箇所、災害復旧工事 1 箇所	
・ 公園施設単独災害復旧事業	6,800 千円
修繕 6 箇所、災害復旧工事 1 箇所	

○その他公共施設・公用施設災害復旧事業【市民生活課】 補正額： 37,044

(事業内容)

・ 公共施設復旧事業
災害復旧工事 1 箇所

○(継続費) 史跡佐渡金銀山遺跡ガイダンス施設整備事業【世界遺産推進課】

補正額： 58,947

(事業内容)

・ 史跡佐渡金銀山遺跡ガイダンス施設整備事業	
平成 29 年度	58,947 千円
平成 30 年度	830,614 千円
合計	889,561 千円

○戦略的観光誘客促進事業(債務負担行為)【観光振興課】

(事業内容)

島内二次交通の確保、自然を活かした体験メニューの開発、通年観光に向けてオンシーズンの拡大を図る	
・ 期 間：	平成 29 年度～平成 30 年度
・ 限 度 額：	24,942 千円
・ 実施事業：	①二次交通対策事業 9,222 千円
	②通年観光対策事業 12,600 千円
	③観光バス対策事業 3,120 千円

○温泉管理運営事業【市民生活課】 補正額： 76,000

(事業内容)

・「相川健康増進センターワイドブルーあいかわ」民間譲渡に伴う大規模改修
-------------------------------------

(事業内容)

・地方財政法第7条により繰越金の二分の一を財政調整基金に積立

## 2 佐渡市民サービスカードの発行について

<概要>

【チラシ参照】

- ・佐渡航路運賃の島民割引の適用を受けるには、現在、運転免許証などの公的証明書で島民確認を行っています。
- ・10月1日から「佐渡市民サービスカード」による島民確認に切り替わり、これにより、券売機でも島民割引運賃で購入することが可能となります。
- ・「佐渡市民サービスカード」は、佐渡市に住民登録している小学生以上の市民に、9月下旬に、佐渡市から各世帯に郵送いたします。
- ・10月1日からは、原則「佐渡市民サービスカード」による島民確認となります。(移行期間として平成29年12月31日までは従来の島民確認も可能)
- ・平成30年1月1日以降は、免許証等での島民確認はできません。

## 3 佐渡空港「空の日イベント」の開催と佐渡上空遊覧飛行の実施について

<概要>

【チラシ参照】

- ・航空への理解や関心を高めてもらうため、佐渡空港「空の日」イベント及び佐渡上空遊覧飛行を実施します。
  - ・「空の日」イベント
    - 日時：9月16日(土曜日)9時30分から15時30分
    - 内容：航空機の展示、遊覧飛行をプレゼントほか
  - ・佐渡上空遊覧飛行
    - 日時：9月17日(日曜日)、18日(月曜日の祝日)9時から16時
    - 内容：世界遺産を目指す「相川金銀山」や佐渡ジオパークの「尖閣湾」上空の遊覧飛行を抽選で48名の方にプレゼント
- \*航空機は、いずれも3人乗りのセスナ機です。

#### 4 慶応大学ラグビー部「朱鷺と暮らす郷」米贈呈式の開催について

<概要>

【添付資料参照】

・「朱鷺と暮らす郷」米、10 作目を記念して、お米の消費拡大、認知度の向上を図る取り組みとして、9 月 9 日（土曜日）慶応義塾大学体育會蹴球部合宿所グラウンド（神奈川県横浜市港北区日吉本町）に於いて、佐渡市、佐渡農業協同組合共同で、慶応大学ラグビー部に「朱鷺と暮らす郷」米贈呈式を開催します。

・贈呈式では、慶応大学ラグビー部員や大学近隣の方に、慶応大学ラグビー部の黄・黒の縞模様のタイガージャージを模した「朱鷺と暮らす郷」米おむすびの試食会を行います。

・9 月 29 日（金曜日）、30 日（土曜日）にはラグビー部員の方に佐渡へお越しいただき、新米出荷作業等の体験のほか、子どもたちを対象にラグビー体験教室を開催する予定となっております。

・10 月 7 日（土曜日）には、慶応義塾大学体育會蹴球部合宿所に於いて、慶応大学ラグビー部員とその保護者を対象に、五つ星マイスターによる「お米セミナー」も開催いたします。

#### 5 第 2 回佐渡民謡の祝祭の開催について

<概要>

・「佐渡民謡の祝祭」を、今年も佐渡奉行所を舞台に開催します。

日 時：10 月 8 日（日曜日）午前 10 時から午後 3 時 30 分まで

\* 入場は無料です。

内 容：

- ・奉行所内に屋外ステージを設置し、島内の各民謡団体に加え、地元小学生が佐渡に残る民謡の数々をご披露いたします。
- ・ゲストとして、佐渡市羽二生出身の民謡歌手、小林よしえさん、「佐渡三大民謡全国大会」入賞者の皆さんも出演いたします。
- ・三味線や太鼓などの楽器や唄の体験コーナーや、お子様も楽しめる広場の設置など、趣向を凝らしたお祭りイベントも企画。

## 【事前質問への回答】

①-A ワクチン誤接種後、現時点で体調に変化の出た児童はいるか？

(回答)

・B型肝炎ワクチンを接種した児童のうち、1名に体調不良の症状が発生いたしましたが、病院受診の結果、「予防接種のワクチンが体内に入ったことによって免疫力が低下したもので、B型肝炎ワクチンに限らず、同様の症状が出るのが想定される。」との所見をいただきました。通院をしていただきながら、経過を注視してまいります。当該児童を含めた12名の児童への今後の対応としましては、30日(水)が接種後1週間となりますので、保健師による訪問を実施し、健康状態を確認するとともに、ご不安な事柄等の聞取り等を行ってまいります。

①-B 改めて再発防止の対策は？

(回答)

・再発防止策として、今回の事故は、ワクチン搬出時、接種準備時、接種時など、チェックする機会が複数回あったにも関わらず、思い込みにより全くチェックされることなく起きてしまいました。そのため、8月26日に行われた二種混合接種においては、マニュアルを見直し、それに沿ってワクチンの搬出や接種準備等を行うほか、保護者の皆様にもワクチン名称が記載された外箱を確認していただき、安心して接種を受けていただける体制を取り、対応いたしました。また、保管庫においても、ワクチン名を大きく表示した容器に入れて区別し、保管ワクチンを間違えないよう改善しております。

①-C 関係職員、担当課等の処分は？

(回答)

・事実関係を調査・確認の上、厳正に対処いたします。

②-A 「金を中心とする佐渡鉱山の遺産群」について文化庁から正式な課題の提示はあったか？あればその内容。

(回答)

・文化庁を通して、国文化審議会から5点の課題が提示されました。

比較研究による佐渡の特異性の明確化、あるいは、鉱山社会としての独自性や特質を顕在化など、価値説明を更に精緻化するよう求められました。

これらの対応については、推薦書を一緒に作り上げてきた国内外の専門家とは協議を始めており、学術委員会など専門家からのご指導もいただきながら、更にわかりやすい「価値の説明」について、もう一度練り直しを進めていきたい。

②-B また7月31日の審議会の会見では7つの構成資産の関連性が分かりにくく何を世界遺産にしたいのか分かりにくいというような指摘があった。しかしこの構成は文化庁の指導に基づいたものではないのか？来年はこの構成を見直すのか？

(回答)

・国の会見に同席された方からの情報では、「世界遺産を目指す上で、構成資産の関連性がわかりにくい」ということではなく、それらが証明する技術や社会などの特徴を強く訴えて、他の鉱山との更なる差別化をするべきとの説明であったと聞いています。

構成資産の選択については、文化庁の指導をいただきながら検討を進め、佐渡金銀山世界文化遺産学術委員会において決定したものです。

構成資産の選択や価値付けの説明など今後の対応については、国内外の専門家の指導をいただきながら、文化庁や県と共に検討を進めていきたい。